

【概要】

2015年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第2回)

I 調査の概要

今後5年以内に、住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定の方を対象にして、住宅取得に向けた意識や行動、利用予定の住宅ローンの金利タイプなどについて、インターネットによるアンケート調査を2015年10月に実施し、その結果を取りまとめたものです。
(回答数:1,162件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 「全期間固定型」及び「変動型」の希望割合が増加し、「固定期間選択型」の希望割合が減少<p. 2>

- ・「全期間固定型」は 36.9% (前回調査:35.6%) と増加、「変動型」も 27.6% (前回調査:27.0%) と増加
- ・一方、「固定期間選択型」は 35.5% (前回調査:37.4%) と減少

2 今後1年間の住宅ローンの金利見通しは、全体では「現状よりも上昇する」が減少<p. 3>

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通し(全体)は、「現状よりも上昇する」が 32.5% (前回調査:38.0%) と減少し、「ほとんど変わらない」は 41.7% (前回調査:36.3%) と増加
- ・「見当がつかない」の割合は、17.6% (前回調査:19.4%) と減少

3 住宅の買い時意識が低下<p. 6>

- ・今(今後1年程度)は住宅取得のチャンス(買い時)だと思ふ方の割合は、38.0%と前回調査(39.2%)より低下
- ・住宅取得のチャンス(買い時)だと思ふ理由は、「住宅ローン金利が低水準だから」が 81.0% (前回調査:78.4%) に、「消費税率引上げ前だから」は 40.0% (前回調査:35.4%) にいずれも増加